

農業資材審議会農薬分科会農薬影響評価部会（第5回）議事要旨

1 開催日時及び場所

日時：令和4年8月5日（金） 13:30～15:25

場所：農林水産省消費・安全局第6会議室（WEB会議形式による開催）

2 出席委員（敬称略）

五箇公一、與語靖洋（部会長）、稲生圭哉、中村純、横井智之

3 議事要旨

（1）農薬蜜蜂影響評価部会における公表文献の取扱いの検討について（公開）

資料3に基づき審議した結果、「農薬蜜蜂影響評価部会における公表文献の取扱いの検討について」について、事務局案が了承され蜜蜂影響評価部会決定とすることとされた。

（2）令和元年農林水産省告示第480号（農薬取締法第四条第一項第五号に掲げる場合に該当するかどうかの基準を定める件）第2号に掲げる蜜蜂の蜂群への影響その他農薬の蜜蜂への影響評価に関する事項について（ジクロロメゾチアズ及びジメスルファゼット）（非公開）

ア 資料4「ジクロロメゾチアズ報告書（案）」に基づき審議した結果、ジクロロメゾチアズの蜜蜂への影響評価に用いる毒性指標を下表の値とすることについて、了承された。

生育段階	毒性試験の種類	毒性指標値	
成虫	単回接触毒性	48h LD ₅₀	110 µg ai /bee
	単回経口毒性		110 µg ai /bee

申請の製剤の適用作物はいずれも開花前に収穫する作物であり、その使用にあたり本剤に蜜蜂が暴露しないと想定された。そのため、本剤は「申請された適用方法に基づき使用される限りにおいて、蜜蜂の群の維持に支障を及ぼすおそれはないと考えられる」ことが了承された。

イ 資料5「ジメスルファゼット報告書（案）」に基づき審議した結果、ジメスルファゼットの蜜蜂への影響評価に用いる毒性指標を下表の値とすることについて、了承された。

生育段階	毒性試験の種類	毒性指標値	
成虫	単回接触毒性	48h LD ₅₀	100 µg ai /bee
	単回経口毒性		100 µg ai /bee

本剤の水稻における代謝試験及び作物残留試験の結果、水稻地上部への本剤の

吸収移行性が極めて低いことから、蜜蜂が水稻花粉を介して本剤に暴露するおそれは極めて低いと考えられた。そのため、本剤は「申請された適用方法に基づき使用される限りにおいて、蜜蜂の群の維持に支障を及ぼすおそれはないと考えられる」ことが了承された。

(3) その他（非公開）

事務局より、資料6「メトブロムロン農薬蜜蜂影響評価書（案）」に対する意見募集の結果について（案）」に基づき説明し、事務局の「御意見に対する考え方」について、了承された。

(以上)